

【報告会でいただいたご質問】（順不同）

No.	質問	回答
1	・通学距離が長く、冬季の日没後の下校や生徒数減少による単独下校など、安全面が心配である。 ・スクールバス運行についての検討状況について教えてほしい。	・通学安全部会では、中学生の基本的な通学方法を自転車通学とする方向で検討している。 ・文部科学省の通学距離の目安や現在の通学実態を踏まえ、大渡戸行政区については通学支援の検討対象としている。今後、大渡戸行政区の保護者から意見を聴取して再度総務部会で検討を進める予定である。 ・今回いただいた意見も踏まえ、引き続き慎重に検討していく。
2	・通学路は統一されるのか。 ・自転車通行帯（ブルーライン）の整備を進めてほしい。	・東中学校で作成した通学路原案図を基に通学安全部会で検討している。 ・安全な通学路を指定するとともに、通学路安全プログラムにより警察・道路管理者等と連携し、安全対策を検討していく。 ・通学路の見直しと併せ、関係機関と協議しながら検討していく。
3	・道路交通法改正への対応や歩道通行、自転車利用ルールの周知を徹底してほしい。 ・道路標識や危険箇所の改善を進めてほしい。	・学校では警察による交通安全教室を実施している。 ・毎年実施している通学路安全点検において、引き続き関係機関と連携しながら危険箇所の改善に努める。
4	通学路案の考え方や危険箇所への対応について	・通学安全部会で安全確保を最優先に検討している。 ・通学路安全プログラムを活用し、関係機関と連携して安全対策を進める。
5	将来の小学校統合時にはスクールバスを運行する考えはあるのか。	小学校については令和9年度に準備委員会を設置し、保護者アンケート等も実施しながら検討を進める予定である。
6	実際の通学距離は6kmを超えるのではないのか。	職員による実測では、最も遠い大渡戸行政区から八千代一中正門まで、7.98km(7分39秒)、次に遠い芦ヶ谷新田行政区から八千代一中正門まで、7.37km(26分10秒)だった。通学時間はいずれも30分以内であり、文部科学省が示す通学時間の目安(おおむね1時間以内)の範囲内である。
7	ピアノなどの備品や東中学校跡地はどのように活用するのか。	・使用可能な備品は新設中学校で活用する予定である。 ・跡地利用については現在検討中であり、有効活用を図っていく。
8	東中学校跡地の管理・活用について。	町の貴重な財産であることから、有効活用に向け慎重に検討を進める。

No.	質問	回答
9	・ 統合までに児童生徒同士の交流はどのように進めているのか。 ・ 部活動の合同実施状況はどうなっているのか。	・ 合同体育祭や合同練習などを実施し、交流を進めている。 ・ サッカー、野球、女子バレーボール、吹奏楽部などで合同活動を実施している。
10	大渡戸行政区から隣接自治体の中学校へ通学することは可能か。	保護者の希望により区域外就学が認められる場合があり、過去にも事例がある。
11	将来の児童生徒数を見据えた統合の必要性について。	今後も児童生徒数の減少が見込まれるため、適正な教育環境を確保する観点から統合を進める。
12	中学校統合は予定どおり令和10年4月に実施できるのか。	現在の校舎を活用するため、予定どおり令和10年4月の統合を目指して準備を進めている。
13	統合による教育効果について。	・ 学級数・教員数の増加により教育環境が充実する。 ・ 人間関係の広がりや切磋琢磨できる環境づくりにつながる。
14	新設小学校内への学童保育設置について。	今後、小学校統合準備委員会や福祉部門とも連携しながら検討していく。
15	校名案を募集した際に無効となった案はあるか。	応募者が重複しているものや校名案としてふさわしくないもの（既存の校名や企業名など）を無効とした。
16	新しい校歌は著名な作曲家や歌手への依頼も検討してはどうか。	総務部会で検討を進めており、いただいた意見も参考にしながら検討していく。
17	総務部会において今後校章や校歌について調査検討を行うと説明があったが具体的に依頼先の案はあるか。	校章については公募を実施する方向で検討している。 校歌については現時点で具体的な案がある訳ではないが、他市町村の取り組みの様子を参考にしながら総務部会に提案したい。
18	新設中学校の開校にあたり保護者組織の見直しや学校における地区や行政区単位の取り組み等を見直す予定はあるか。	これまでの地区単位の考えを一気に変えることは難しいと認識している。 保護者組織における各地区から選出する会長や役員等の取り扱いについては総務部会において意見を聞きながら進めていく。